小原海岸と崖下り

このトレイルの起点は、少なくとも明治時代（1868-1912）から徳之島島民に愛されてきた小原海岸へと続く急な下り坂が始まる地点です。小原海岸の魅力は、そこに点在する「温泉」です；石灰岩の岩礁が浸食されてできた浅い池に溜まった海水は、太陽の熱で温められ、蒸発によって塩分濃度が高くなっています。徳之島には天然の温泉がないため、こうした温かい塩の池は格好の代替となります。これらの池の湯は天然の治癒効果があると信じられており、島内各地から人々が訪れてこの湯で疲れを癒しました。

地質学的に興味深い地形

不思議な形に浸食された岩が並ぶ海岸の険しい岩場には、高さ 100m ほどの隆起サンゴ石灰岩崖がそびえています。雨水は、標高の高いところから、いたるところに洞穴や地下水路がある多孔質の石灰岩を通して下方に流れます。海岸には、トレイルの終点から左に約 100 メートル行ったところに高さ 30 メートルの滝があり、露出した鍾乳石にその地下の起源を垣間見ることができます。

海岸へと下る道

海岸までの 400m のトレイルをハイキングしたい冒険好きな方は、自己責任において進むことになります。傾斜は急ですが、最も険しい箇所には補助ロープが張られています。トレイル上に数箇所ある、岩の上を水流が横切っているところは滑りやすく怪我の危険があります。このトレイルを歩く場合は、適切な靴と服装、十分な水分補給を心がけてください。